

南アルプス 茶臼岳～上河内岳～聖岳 （茶臼岳まで）

2013年12月30日(月)～2014年1月1日(水)

L 池田T(記)、磯部S(一部写真)、佐藤Y

計画では茶臼岳から上河内岳を経由して聖岳まで縦走し、東尾根を下降する予定だった。しかし天候が予想よりも悪く、実際に行けたのは茶臼岳のみ。残念な結果に終わってしまった。

12/30(月) 晴のち曇り

沼平のゲート前には10台近くの車が停まっていた。ヘッドランプを点けて歩き始める。林道に雪は無いが所々で凍結していた。畑薙大吊橋に着く頃にはだいぶ明るくなってきた。吊橋を渡って登山道に入る。いきなりの急登で背中の荷物が重く感じる。やがてトラバース道になり、落葉を踏みしめて歩く。ウソコ沢小屋の手前あたりから雪が見られるようになる。



横窪沢小屋。一部が解放されている。中はキレイ。



樹林帯の急な登り。下山中のパーティーすれ違った。

トレースがしっかりついているのでラッセルは全く無し。ルートは基本的に尾根上であるが、尾根の真上は樹林が密な所があり、時々南西側をトラバースしている。標識や赤布は少なめである。標高を上げていくとだんだん雲行きが怪しくなり、小屋に着く頃には視界が悪くなってきた。コルから吹き降ろす風も強く、小屋に入った時はホッとした。小屋の中には4～5名のパーティーが1組いた。我々の中2段に陣取ってテントを張った。



雪に霞む茶臼小屋（真ん中左上）

<タイム> 沼平6:00－畑薙大吊橋6:40－横窪沢小屋10:45－茶臼小屋15:45

12/31(火) 曇り

パッキングを整えて小屋を出る準備は整えたものの外は風が強い上に視界も悪い。小雪も舞っている。明日は今日よりも気象条件が悪くなる予報なので縦走するなら今日しかないが、この状態では厳しいのでしばらく小屋の中で待機する。

しかし多少待ったぐらいでは条件は好転せず、今日も茶臼小屋に泊まることを決めて縦走はあきらめた。それでも新人の佐藤さんの今後のために、茶臼岳の山頂をピストンすることにした。

標高2500mのコルまでは比較的楽に行けたものの、主稜線上では風が非常に強かった。視界は数十mと悪く、見通しが利かない。稜線上は雪が少なく、夏道も先行者のトレースも不明瞭であったが高いい所を目指して登っていく。

茶臼岳山頂からの展望は全く無し。写真を撮って早々に下山する。



茶臼岳山頂



山頂から下っているところ。

降りている途中で東側の展望が突然開けて富士山を望むことが出来た。上空には青空が広がっていた。



突然視界が開けて富士山が見えた。



短い時間だが青空が見えた。



茶臼小屋と富士山(左上)

小屋は昨日よりも人が多くて賑やかだった。4～5パーティーで総勢15～16人。
人数が多いためか小屋の中が暖まり、快適な夜を過ごすことが出来た。

<タイム> 茶臼小屋発11:00－茶臼岳12:30－茶臼小屋着13:35

1/1(水) 曇り時々雪

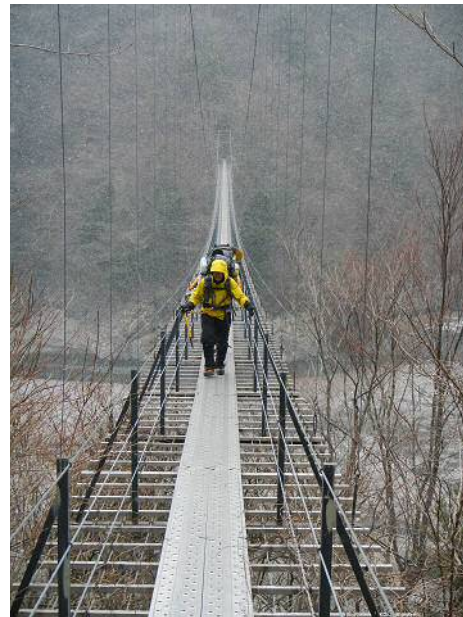
風と共に雪が舞い、視界は数十mと昨日と同じような状況。初日の出を拝むところではない。

小屋を先に出たパーティーが戻ってきた。コルまでは行ったものの風雪が強くて引き返してきたと言う。
我々も上河内岳までは行きたかったが、その状態で稜線上を歩くのは危険だ。無理せず下山することにした。

小屋からの下山道は風雪でトレースが消えていた。
おととい通ったばかりなのでルートは覚えていたがそうでなかったら苦労しただろう。
樹林帯に入ってしまうとトレースがしっかり残っているのでルートは明瞭であった。



標高1500m付近。



雪が舞う中、畑薙大吊橋を渡る。

ダムから少し下った所にある白樺荘がいつも通り営業していたので汗を流して帰路についた。

<タイム> 茶臼小屋8:30－横窪沢小屋10:15－ウソッコ沢小屋11:50－畑薙大吊橋13:35－沼平14:25

以上